

重要伝統的建造物群保存地区の選定について

重要伝統的建造物群保存地区の選定について

文化審議会（会長 馬淵明子）は平成28年10月21日（金）、重要文化財建造物10件の指定、重要伝統的建造物群保存地区2件の選定を文部科学大臣に答申しました。重要伝統的建造物群保存地区には、本県の牟岐町出羽島が含まれています。

名称 牟岐町出羽島伝統的建造物群保存地区
所在地 海部郡牟岐町大字牟岐浦字出羽島の一部
面積 約3.7ヘクタール
種別 漁村（江戸時代後期に徳島南海の島に形成され、鯉漁の隆盛で拡大した漁村集落）

特徴 牟岐町出羽島伝統的建造物群保存地区は、徳島藩の移住奨励によって牟岐浦沖の島に形成され、鯉漁の隆盛に即して近世末期から昭和前期にかけて拡大した漁村集落である。黒潮の影響を受けた気候風土と、牟岐村庄屋青木家による土地所有の下、砂嘴が発達した独特な地形に、規模や形式が揃った漁家の主屋が建ち並ぶ独特な集落景観を発展させ、地域的特色が顕著な歴史的風致を良く伝えている。

※徳島県内の重要伝統的建造物群保存地区

美馬市脇町南町，三好市東祖谷山村落合，牟岐町出羽島

選定に至る経緯

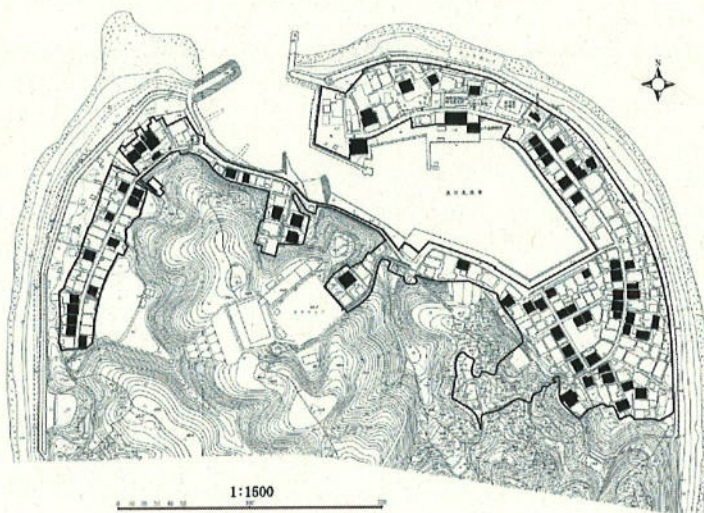
平成25年度から26年度 牟岐町が保存対策調査を実施し、調査報告書を刊行する。
平成27年度 牟岐町が保存計画の策定及び地区の確定する。
平成28年7月 牟岐町が文化庁に選定の申し出を行う。



出羽島全景



伝統的なまちなみ



牟岐町出羽島伝統的建造物群保存地区の範囲